

平成30年度新潟県病害虫発生予察情報・特殊報第5号
(タバコノミハムシの初確認)

平成30年11月9日
新潟県病害虫防除所

1 病害虫名 タバコノミハムシ (*Epitrix hirtipennis* Melsheimer)

2 作物名 なす

3 発生地域 新潟県糸魚川市

4 発生経過

- (1) 平成30年9月中旬頃から、糸魚川市のなすの土耕ハウス栽培ほ場(約0.8a、品種：越の丸、5月下旬定植)の一部の株の葉面に細かい食害が認められた。9月下旬には葉上に小型のハムシ成虫の寄生が認められ、ハウス内のほとんどの株で葉の食害が確認された(図1)。
- (2) 10月中旬に成虫を採集し、横浜植物防疫所に同定を依頼したところ、本県未発生のタバコノミハムシ(*Epitrix hirtipennis* Melsheimer)と判明した(図2)。
- (3) 隣接する同じ生産者のなすのハウス内(約0.8a)でも同様の被害葉が確認されたが、糸魚川市内で栽培されている同一品種の他のなすほ場(約80a)での発生は、未確認である。

5 形態および生態

- (1) 成虫は体長1.5~2.5mm、長楕円形でやや扁平であり、密な短刺毛に覆われる。体色はやや光沢のある赤褐色で、上翅の中央部に不明瞭な黒斑を持つ。また後腿節は肥大している。(図3~4)。
- (2) 本種はアメリカ合衆国を原産とする外来種で、寄主植物としてタバコ、なす、トマト、ばれいしょ、ほおずき等のナス科作物が報告されている。アメリカ合衆国ではタバコの重要害虫とされているが、国内ではタバコへの被害は未確認で、なす、トマト、ばれいしょ、ほおずき等の作物から発生が認められている(参考文献1)。
- (3) 平成23年に群馬県で国内で初めて発生が確認され、その後栃木県、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、三重県及び大分県で被害の報告がある。
- (4) 本種の成虫は、葉の片側の表皮を残して葉肉を食害したり、葉を貫通して食害したりするため、表皮を残して広く食害されたり、直径1~2mm程度の多数の小さな白い点状の食害痕や丸い穴が観察される(図1)。

6 防除対策

- (1) 平成30年年11月現在、本種に対する登録農薬はないが、他県の事例では、主に有機栽培や減農薬栽培のほ場で発生しており、慣行の防除を行っているほ場では密度は上がりにくいと考えられる(参考文献2)。

- (2) 国内での越冬状況は不明であるが、国外では落葉下で成虫越冬すると報告されている。本種が寄生しているナス科作物の栽培終了時には、近隣のナス科作物へ移動しないように残渣を速やかに処分する。

【参考文献】

- 1 原田晴康・滝沢春雄 (2012) 日本における侵入害虫タバコノミハムシの発生. 応動昆. 56:117-120
- 2 大分県農林水産研究指導センター農業研究部(2018) 平成30年度病害虫発生予察 特殊報第1号



図1 なすの被害葉
(平成30年10月18日撮影)

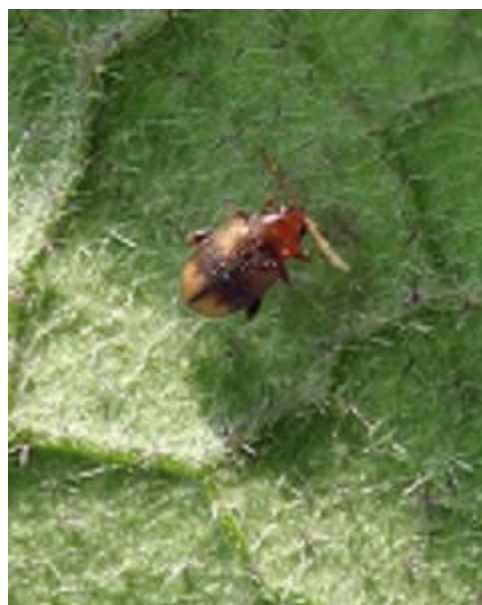


図2 なす葉上のタバコノミハムシ成虫(死虫)
(平成30年10月18日撮影)

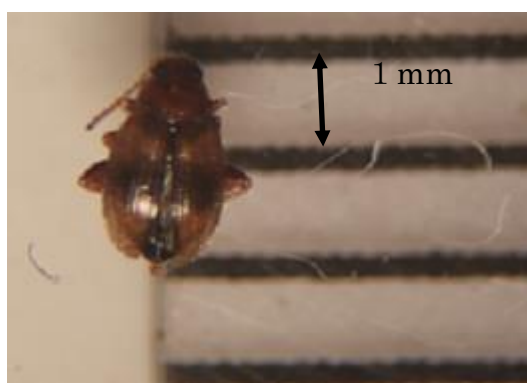


図3 タバコノミハムシ成虫(背面)
(平成30年10月22日撮影)



図4 タバコノミハムシ成虫(腹面)
(平成30年10月22日撮影)

図1、2は新潟県農業総合研究所園芸研究センターより提供

